

報道関係各位

株式会社 JAPANDX
2021年7月16日

【日本をデジタルトランスフォーメーションする株式会社 JAPANDX】
**ペガラジャパンと、冠水検知サービスの地方公共団体向けサポートメニュー
実証検討の実施に合意**

株式会社 JAPANDX (代表取締役：菅原 貴弘、以下 JAPANDX)と、AI のコモディティ化による豊かな社会の実現を目指すペガラジャパン合同会社(代表社員：市原 俊亮、以下 ペガラジャパン)は、AI を活用した冠水検知サービスについて、地方公共団体向けに提供するサポートメニューの実証検討実施について合意しましたので、お知らせいたします。

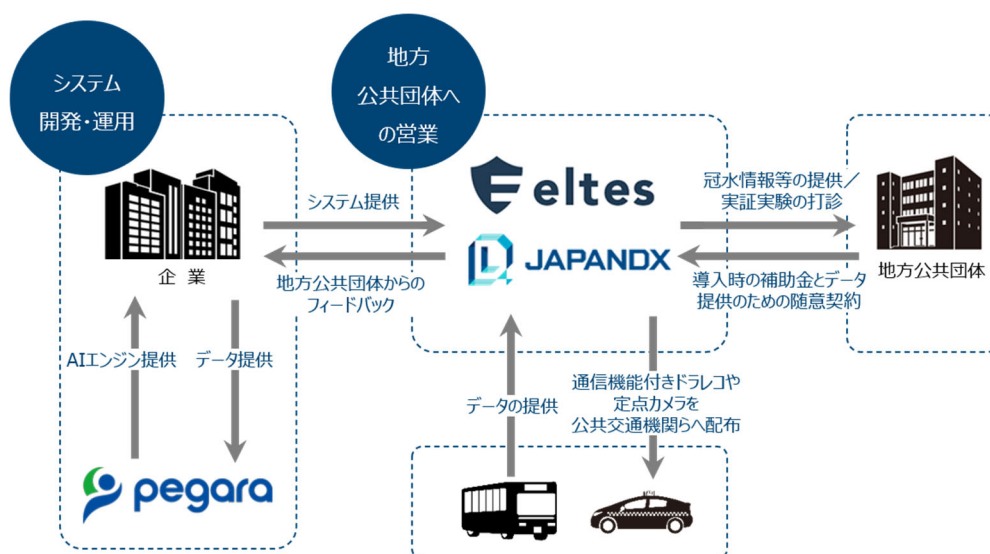
【背景】

近年、豪雨や台風による災害の激甚化が指摘されており、各地で重要インフラの機能に支障を来すケースが発生しています。防災、減災への取り組みは重要なリスクマネジメントであり、市民の生命と財産を守るために欠かせない取り組みです。

そうした中、AI や IoT を活用して防災、減災に役立つ「災害テック」に注目が集まっています。災害予測、被害状況の把握、救援隊への連携など、新たなテクノロジーを活用した災害対策が進み始めています。

【冠水検知サービスの概要】

ペガラジャパンが開発する冠水検知サービスは、バスやタクシー、公用車等に搭載したドライブレコーダーを通じて画像を収集し、AI によって解析することで、地域別の冠水状況をマップ上に描画配信します。また川沿いに設置した定点カメラによって河川の確認を確認。これによって水害時の避難ルートの可視化を支援します。



地面が冠水してしまうと地形が把握できなくなるため、誤って側溝やマンホールに落ちてしまう可能性があり大変危険です。冠水状況を可視化して安全な避難ルートを提示することで、避難時の事故や市民の逃げ遅れを防ぎます。

【今後の取り組みについて】

JAPANDX が DX 推進を支援する地方公共団体を中心に、連携協定などによって本サービスの実証実験を推進し、本格的な事業化を目指します。地方公共団体にとって有益な冠水検知サポートメニューを、ペガラジャパンと共に実証検討して開発することで、地域の皆様の安全・安心な生活づくりに貢献してまいります。



JAPANDX はデータ活用等による地域の課題解決や持続的発展を可能にするために、安全・安心な DX を推し進め、それぞれの地方公共団体や地域の価値向上を伴うスマート化デジタル化に向けて、引き続き挑戦してまいります。

■ペガラジャパン合同会社について

ペガラジャパンは、Deep Learning の卓越した技術力を武器に、「プラントにおける防爆ドローンと AI を活用した点検システム構築」や「防災・減災領域の AI モデル構築」等の事業を通じて、人間が安心して暮らせる社会を実現するために尽力します。ペガラジャパンは、Deep Learning 向けクラウドとして知られている GPU EATER の開発元 Pegara, Inc.（本社：米国デラウェア州）の子会社です。

[会社概要]

社名 : 株式会社 JAPANDX
代表者 : 代表取締役 菅原 貴弘
所在地 : 東京都千代田区霞が関 3-2-5
設立 : 2020 年 12 月 11 日
URL : <https://japandx.co.jp/>
事業内容 : エンタープライズ向け総合デジタルソリューションの提供、各種 DX 事業推進、デジタル・ガバメント推進、等

社名 : ペガラジャパン合同会社
代表者 : 代表社員 市原 俊亮
所在地 : 東京都千代田区丸の内 1 丁目 8 番 3 号
創業 : 2017 年 12 月 1 日
URL : <https://gpueater.com/about>
事業内容 : 自社研究の画像処理 AI を活用したソリューションの開発・提供

報道関係者のお問い合わせ先

エルテス PR 事務局:江島 Tel :070-4334-1808
E-mail: pr@eltes.co.jp